

金竜だより

令和3年 5月 31日

台東区立金竜小学校

TEL 3871-9893

ホームページ

<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230>



まずは「やる気」を育てる

校長 古谷 尚律

緊急事態宣言の延長により、2学年以上での活動ができないことや、保護者の参観ができないことから、5月末予定の「金竜スポーツフェスティバル」を延期いたしました。楽しみにされていた保護者の皆様には大変申し訳ありませんでした。今後も状況により、学校行事を変更する場合があります。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて全国では、もうすでに梅雨に入ったところもあります。学校でも、じめじめと蒸し暑い日が続くのではないかと心配しています。そんなときには児童の気分がのらず、授業での集中力も途切れがちになることが心配の一つとなります。

そんな中、『あなたの脳のしつけ方 目からウロコの「実践」脳科学』（中野信子著）という作品を読むことができました。その中で「集中力のしつけ方」という項目がありました。少し御紹介すると……

人間の脳は構造上、集中しにくいようになっているそうです。（集中できないという状態は、実は脳科学的にはいたって「普通」のことだそうです。）ですから、ただ「集中するぞ」と思うだけでは、なかなか集中のスイッチが入らないそうです。もし集中しようとするならば、「いい集中空間を演出する」ことが大切だそうです。例えば、集中を乱すものを視界から排除する。（インターネットを切る。雑誌を片付ける。机の上の食べ物や飲み物を片付ける。等）そして、いったん集中状態に入ってしまうと、たとえ大変な作業でも決して辛いとは感じず、むしろ熱中する楽しさを感じるそうです。そして集中して行う前の「やる気」は「脳の構造上、作業をやり始めてから出る」ようにしつけられているそうです。まずは、指や目、筋肉などを動かして、そこから作業することの楽しさを脳に伝えるとよいそうです。

もしかすると、学習環境を整え学習作業を工夫することで、子供たちのやる気を醸成し、そのことから集中力が高まり、学習という作業を楽しませることができるかもしれないと考えます。そのためにも、いろいろな学習作業を経験することで、まずは「やる気」を育てることも意識していきたいと思えます。

2年生の様子

2年生担任

「トマちゃんにしようかな」「ミニーちゃんにする!」、生活科でミニトマトの種を植えたとき、子供たちがそれぞれ名前を付けました。水やりを毎日欠かさず、成長を楽しみに愛情いっぱい育てている姿がとても微笑ましいです。生活科では、1年生に学校の中を紹介する『学校たんけんしよう』の学習も進めています。紹介する教室の看板を作ったり、1年生に渡すカードに絵や文章を書いたりしています。「どんなことをする教室か、1年生に優しく教えてあげたい」と話すなど意欲を燃やしています。かっこいいお兄さんお姉さんとして、頑張ってもらっています。

図工科では、『こいのぼりのお出掛け』を学習しました。封筒と折り紙、クレヨンを使ってこいのぼりを作成し、お出掛けさせたい所を想像して絵に表しました。深海の中を泳がせたり、山登りをさせたり…。まるで、自分もこいのぼりと一緒にお出掛けしているようなワクワクの時間を過ごしました。『新聞紙とあそぼう』では、新聞紙を破ったりねじったり丸めたりしながら、体全体を使って表現することを楽しみました。

「思ったより頑丈だよ」「穴をあけたら～になったよ」など、新しい発見がたくさんあったようです。

